

平成30年度 宇都宮市立田原西小学校 学校経営の方針

<p>本校が目指す児童像</p> <p>『いきいき にこにこ がんばる子』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康で明るい子 ・思いやりのある子 ・自ら考える子 ・がんばりぬく子 	<p>教育目標</p> <p>児童一人一人の特性や能力を伸ばし、心身共に健康で、創造性と実践力に富む、「知」「徳」「体」の調和のとれた、たくましく心豊かな児童を育成する。</p> <p>学校経営の理念</p> <p>「元氣なあいさつが響き 教師も児童も生き生きと学び合う学校づくり」</p> <p>本校が目指す学校づくりの3つの視点</p> <ul style="list-style-type: none"> ◇ 日々の生活にあいさつが響き、明るく活気のある学校 ◇ 子ども一人一人が生き生きとし、学び合える学校 ◇ 楽しく安心して生活でき、保護者・地域住民から信頼される学校
--	--

学校経営の方針

- 1 心豊かに、他者と協働しながら創造的かつたくましく生きていくことをめざし、子ども一人一人が未来の創り手となるよう必要な資質や能力、学力の向上に努める。
- 2 社会的規範や基本的な生活習慣、健康で安全な生活態度を身に付け、自ら律していける能力をもった児童の育成に努める。
- 3 主体的・対話的で深い学びの実現に向けた授業改善、愛情と信頼、創意と工夫による教育活動を推進するとともに、適正な勤務時間となるよう業務の効率化に努める。
- 4 「宇都宮市学校教育推進計画」の理念や趣旨をふまえ、明るく活気にあふれる教育活動を実践し、心豊かな児童の育成と好ましい校風づくりに努める。
- 5 社会に開かれた教育課程の実現のため、家庭や地域社会との連携を図り、相互に補完し合いながら地域に根ざした教育活動の推進に努める。
- 6 施設・設備の効果的な活用に努め、学習に働きかける環境構成のより一層の充実を図るとともに、安全な学校を目指し、危機管理を徹底する。

〔田原地域学校園教育ビジョン〕 自らすすんで何事にも取り組む子どもの育成

今年度の重点目標

A 学校運営

- ☆ア 児童が自ら学ぶことの喜びや楽しさを感じることができる活力に満ちた学校づくり
- イ 自ら進んで気持ちのよいあいさつのできる児童の育成
- ウ 業務の重点化・効率化を図るなどし、教職員の勤務時間が適正となるよう努める。

B 学習指導

- ☆ア 基礎基本の確実な習得
- イ 学び合いと思考力、判断力、表現力の育成～自分の考えをもつことと他者との協働～

C 児童生徒指導

- ☆ア 自己肯定感を高める指導の工夫
- イ 帰属意識の高い学級づくりの工夫
- ウ 基本的な生活習慣の育成
- ☆エ 「いきいき にこにこ 元氣にあいさつ!」という目標のもと、元気に生き生きと生活し、進んで明るいあいさつができ、思いやりをもって行動できる児童の育成

D 健康（体力・保健・食・安全）（元氣アップ教育に係る取組を含む）

- ☆ア 自分の体に関心を持ち、進んで健康づくりに取り組む児童の育成

☆ 地域学校園の共通目標

学校経営の具体策

A 1 毎日の学校の生活習慣として 《ルールへの定着と基本的な生活習慣の育成》

- あいさつ運動の推進 ～いつでも・どこでも 保護者・地域への広がりを～
 - ・ 子どもたち（児童指導・児童会）、地域協議会、小中連携によるあいさつ運動
- 集団行動のルールやマナーの定着と基本的な生活習慣の育成
 - ・ しっかりとした規範意識 ～廊下の歩行、規則正しい生活、チャイムの合図
 - ・ 安全な登下校 ～自転車への注意、歩道の歩き方

A 2 授業の中で 《基礎・基本の習得と学び合い～たにしタイム～の充実》

- 学業指導の徹底と全校体制の取組 ～学習のやくそく、課題達成
- 基礎基本の確実な習得と学び合い活動を取り入れた主体的・対話的な学びへの工夫改善
 - ・ 基礎基本を習得する場と時間の確保 ～朝学、夏季、ICT
 - ・ 自分の言葉で考えた表現→考えを深めるペアやグループでの学び合いへ（個→G→全→個）
 - ・ デジタル教科書やタブレットPC、実物投影機などICTの活用
- 家庭との連携を図った家庭学習の習慣化

A 3 自己肯定感を高めよさを認め合える人間関係づくり 《自律と協働》

- 学級経営・特別活動を基盤にした好ましい仲間づくり
 - ・ 自分よさに気づき自信につなげていく自尊感情の醸成
 - ・ Q-Uを活用した学級・学年の児童同士のよりよい関係づくり
 - ・ 児童会行事等を通じた仲間づくりの推進
 - ・ 清掃活動や委員会活動の充実 ～しっかり時間いっぱいがんばれる子

A 4 喫緊の課題と授業力の向上

- ・ 校内研修の充実 一人1授業 教員としての資質向上を基本に立ち返って
- ・ ユニバーサルデザインを取り入れた学習環境・授業づくり
- ・ 校内支援委員会、ケース会議の適宜開催
- ・ 安全で安心できる教育環境の維持と業務の効率化による勤務時間の適正化
- ・ 道徳の教科化への対応と保護者への啓発
- ・ 外国語活動の充実とALTとの一層の連携

B 学習指導

- ・ 基礎・基本の確実な定着
- ・ 学習指導の工夫・改善（めあて→学び合い→ふり返りの基本スタイル）
- ・ 読書活動の充実 ～読み聞かせ、読書の質の向上
- ・ 家庭・地域との連携・協力

C 児童生徒指導

- ・ 基本的な生活習慣の育成と規範意識の醸成 ～「田原西小よい子のやくそく」
- ・ 自己肯定感の育成とよりよい人間関係の構築
- ・ 個に応じた指導の充実 ～なかよし週間、教育相談
- ・ 家庭・地域、関係機関などとの連携 ～心の教育推進委員会

D 健康（保健安全・食育）・体力

- ・ 運動の習慣化と体力の増強（走力・踏力・筋力の向上）
- ・ 健康課題を改善するための生活習慣の育成と家庭・地域との連携
- ・ 丈夫な体を作るための食事のとり方の指導
- ・ 食物アレルギーへの適切な対応
- ・ 家庭・地域との連携・協力